



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 セイコーグループ株式会社

コード番号 8050

URL <https://www.seiko.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 修司

問合せ先責任者(役職名) 経理部長

(氏名) 南 正宣 (TEL) 03-3563-2111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	232,514	13.1	20,798	47.1	20,784	35.7	12,935	21.5
2024年3月期第3四半期	205,672	4.2	14,143	13.6	15,321	20.5	10,643	31.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 19,162百万円(14.2%) 2024年3月期第3四半期 16,781百万円(22.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	316.88	—
2024年3月期第3四半期	257.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	397,650	166,824	41.4
2024年3月期	376,262	151,334	39.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 164,613百万円 2024年3月期 149,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	37.50	—	42.50	80.00
2025年3月期	—	45.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	50.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	306,000	10.5	20,000	35.7	20,000	25.8	12,500	24.4	306.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) — 、除外 — 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	41,404,261株	2024年3月期	41,404,261株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	559,349株	2024年3月期	639,870株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期3Q	40,820,139株	2024年3月期3Q	41,261,132株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～12月31日)における日本経済は、インフレ傾向のなかでも個人消費は緩やかに回復しており、またインバウンド需要も引き続き回復基調を維持しております。

海外経済は、米国は消費を中心に堅調な成長が続いており、欧州もインフレ鈍化やパリ五輪を受けて消費が上向くなど緩やかに回復しています。中国は消費者需要の低調や不動産セクターの調整が課題です。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期 累計期間(a)	2024年3月期 第3四半期 累計期間(b)	2025年3月期 第3四半期 累計期間①	前々年同期 増減 ①－(a)	前年同期 増減 ①－(b)
売上高	197,459	205,672	232,514	35,054	26,841
営業利益	12,446	14,143	20,798	8,351	6,655
%	6.3%	6.9%	8.9%	2.6pt	2.0pt
経常利益	12,716	15,321	20,784	8,068	5,463
%	6.4%	7.4%	8.9%	2.5pt	1.5pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,104	10,643	12,935	4,830	2,291
%	4.1%	5.2%	5.6%	1.5pt	0.4pt
換算レート					
USD(円)	136.5	143.3	152.6	16.2	9.3
EUR(円)	140.6	155.3	164.9	24.3	9.6

このような中、エモーショナルバリューソリューション事業では、国内市場向けのウオッチ事業、和光事業が、堅調な個人消費やインバウンド需要を背景に大きく売上高を伸ばし、海外市場向けのウオッチ事業もセイコーグローバルブランドを中心に伸ばして、売上高は前年同期を大きく上回りました。デバイスソリューション事業は、前年度第4四半期ごろから一部の製品で調整局面から回復してきており、売上高は前年同期を上回りました。システムソリューション事業も、引き続き多角化やストックビジネス拡大への取組みが奏功して、前年同期を上回る売上高となりました。その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,325億円(前年同期比13.1%増)となりました。

連結全体の国内売上高は1,245億円(同17.6%増)、海外売上高は1,079億円(同8.2%増)となり、海外売上高割合は46.4%でした。

当第3四半期連結累計期間の広告宣伝販促費は前年同期に対して10%以上増加し、販売費及び一般管理費は前年同期から66億円の増加となりました。営業利益は、エモーショナルバリューソリューション事業が牽引し、前年同期から66億円増加の207億円(同47.1%増)となりました。営業外収支は、円相場的大幅な変動による為替差損の計上等により前年同期から悪化し、経常利益は前年同期を54億円上回る207億円(同35.7%増)となりました。特別損益は、特別利益として固定資産売却益など9億円、特別損失として減損損失や事業構造改善費用など、合わせて17億円を計上しております。親会社株主に帰属する四半期純利益は、事業の収益改善に伴い法人税等が増加したことなどにより、前年同期から22億円増加の129億円(同21.5%増)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは1米ドル152.6円、1ユーロ164.9円でした。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

① エモーショナルバリューソリューション事業（EVS事業）

EVS事業の売上高は前年同期比160億円増加の1,586億円（前年同期比11.3%増）となりました。

国内のウオッチは、「グランドセイコー」をはじめとするグローバルブランド全般が好調に推移し、前年同期から売上高を大きく伸ばしました。また、海外でも「セイコープレザージュ」が牽引し、売上高は前年同期から増加しました。ウオッチムーブメントの外販ビジネスについても堅調に推移し、売上高は前年同期から増加しました。

和光事業の売上高は、引き続き好調なインバウンド需要もあり前年同期から増加しましたが、クロック、スポーツ・ファシリティ事業は前年同期から減少しました。

営業利益は前年同期から55億円増加し215億円（同34.8%増）となりました。

② デバイスソリューション事業（DS事業）

DS事業は売上高455億円（前年同期比7.8%増）、営業利益18億円（同96.1%増）となりました。

小型電池は、医療向け酸化銀電池が引き続き好調に推移し、売上高が大幅に伸長しました。また、前年度第4四半期ごろより調整局面からの回復傾向にあった水晶や、前年度まで低迷していた半導体製造装置向け高性能金属なども売上高が増加し、前年同期から増収増益となりました。なお、収益力の低下した事業における事業用資産について、減損損失14億円を計上しております。

③ システムソリューション事業（SS事業）

SS事業は売上高354億円（前年同期比23.8%増）、営業利益36億円（同5.1%増）となりました。

IoT関連ビジネスがテレマティクスビジネスの拡大により順調に伸長し、また、前年度第4四半期に実施したM&Aのシナジー効果によりセキュリティ関連ビジネスが拡大したことで、35四半期連続で対前年同四半期比増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,976億円となり、前年度末に比べて、為替による影響も含め213億円の増加となりました。流動資産では、現金及び預金が157億円増加したことなどにより、流動資産合計は前年度末より183億円増加し1,930億円となりました。固定資産では、有形固定資産が20億円減少、投資その他の資産が50億円増加したことから、固定資産合計は前年度末と比べ30億円増加の2,045億円となりました。

(負債)

負債につきましては、短期借入金が18億円減少、長期借入金41億円増加し、借入金合計は1,208億円となりました。賞与引当金が13億円減少したほか、支払手形及び買掛金が40億円増加、電子記録債務が14億円減少したことなどにより、負債合計は前年度末と比べ、為替による影響も含め58億円増加の2,308億円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、株主資本が95億円増加し、また、その他有価証券評価差額金が22億円、為替換算調整勘定が36億円増加したことなどから、合計でも前年度末と比べ154億円増加の1,668億円となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間では、EVS事業が前年同期と比べ大幅な増収増益となり、DS事業とSS事業も堅調に推移していることから、通期連結業績予想および通期セグメント別業績予想について、下記のとおり修正いたします。

【通期連結業績予想】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2024年11月12日)	306,000	18,000	18,000	11,500	281.68
今回修正予想(B)	306,000	20,000	20,000	12,500	306.17
増減額(B-A)	-	2,000	2,000	1,000	24.49
増減率(%)	-	11.1	11.1	8.7	8.7

【通期セグメント別業績予想】

単位：億円

	売上高		営業利益	
	今回予想	前回	今回予想	前回
エモーショナルバリューソリューション事業	2,040	2,020	218	207
デバイスソリューション事業	630	630	25	25
システムソリューション事業	480	490	51	51
事業別合計	3,150	3,140	294	283
その他	10	10	2	1
連結合計	3,060	3,060	200	180

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去等、連結調整後の数値です。

利益配分につきましては、経営基盤強化のための内部資本の充実と、株主への安定的な利益配分を重視することを基本方針としております。また、当社は株主への主要な利益還元施策を配当による還元とし、連結配当性向30%以上としております。

当期につきましては、本日公表しましたとおり、通期の連結業績予想が前回予想を上回る見込みであることから、当期の期末配当予想を前回予想から1株当たり5.0円増額し、50.0円に修正いたします。

これに伴い、当期の年間配当金は、実施済みの中間配当金45.0円と合わせて、1株当たり95.0円となります。

【配当予想】

基準日	年間配当		
	第2四半期末	期末	合計(年間)
前回予想 (2024年11月12日公表)	-	45円00銭	90円00銭
今回修正予想	-	50円00銭	95円00銭
当期実績	45円00銭	-	-
前期実績 (2024年3月期)	37円50銭	42円50銭	80円00銭

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,683	48,478
受取手形、売掛金及び契約資産	45,496	46,872
棚卸資産	84,382	85,823
未収入金	4,377	3,613
その他	9,173	9,840
貸倒引当金	△1,419	△1,572
流動資産合計	174,694	193,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,230	83,433
機械装置及び運搬具	91,948	95,060
工具、器具及び備品	42,617	44,304
その他	15,609	17,294
減価償却累計額	△172,067	△180,400
土地	54,144	52,717
建設仮勘定	1,553	1,580
有形固定資産合計	116,037	113,990
無形固定資産		
のれん	8,029	6,951
その他	10,159	11,270
無形固定資産合計	18,189	18,222
投資その他の資産		
投資有価証券	56,374	60,875
繰延税金資産	1,984	2,050
その他	9,131	9,590
貸倒引当金	△148	△135
投資その他の資産合計	67,341	72,381
固定資産合計	201,568	204,593
資産合計	376,262	397,650

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,500	25,553
電子記録債務	8,085	6,671
短期借入金	64,350	62,486
1年内返済予定の長期借入金	21,727	22,581
未払金	15,291	11,322
未払法人税等	4,678	4,711
賞与引当金	5,097	3,795
その他の引当金	1,030	1,083
資産除去債務	647	492
その他	23,050	26,206
流動負債合計	165,460	164,905
固定負債		
長期借入金	31,674	35,782
繰延税金負債	6,912	8,168
再評価に係る繰延税金負債	3,614	3,614
その他の引当金	732	877
退職給付に係る負債	6,135	6,180
資産除去債務	494	539
その他	9,903	10,756
固定負債合計	59,467	65,919
負債合計	224,927	230,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,245	7,256
利益剰余金	88,465	97,783
自己株式	△1,584	△1,381
株主資本合計	104,126	113,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,820	20,113
繰延ヘッジ損益	△74	△94
土地再評価差額金	8,190	8,190
為替換算調整勘定	18,290	21,915
退職給付に係る調整累計額	746	830
その他の包括利益累計額合計	44,974	50,954
非支配株主持分	2,234	2,211
純資産合計	151,334	166,824
負債純資産合計	376,262	397,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	205,672	232,514
売上原価	112,988	126,536
売上総利益	92,684	105,977
販売費及び一般管理費	78,541	85,179
営業利益	14,143	20,798
営業外収益		
受取利息	289	369
受取配当金	961	911
持分法による投資利益	792	786
その他	1,186	376
営業外収益合計	3,229	2,444
営業外費用		
支払利息	1,021	1,109
その他	1,029	1,348
営業外費用合計	2,051	2,458
経常利益	15,321	20,784
特別利益		
固定資産売却益	-	816
会員権売却益	-	183
投資有価証券売却益	139	-
事業構造改善引当金戻入額	106	-
特別利益合計	245	999
特別損失		
減損損失	-	1,448
事業構造改善費用	608	181
災害による損失	-	144
情報セキュリティ対策費	395	-
特別損失合計	1,004	1,775
税金等調整前四半期純利益	14,562	20,009
法人税等	3,631	6,923
四半期純利益	10,930	13,086
非支配株主に帰属する四半期純利益	287	150
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,643	12,935

四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	10,930	13,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,815	2,003
繰延ヘッジ損益	23	△20
為替換算調整勘定	4,185	3,356
退職給付に係る調整額	△216	51
持分法適用会社に対する持分相当額	42	685
その他の包括利益合計	5,850	6,076
四半期包括利益	16,781	19,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,408	18,915
非支配株主に係る四半期包括利益	373	246

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバリュ ーソリユ ーション事業	デバイスソ リユース ン事業	システムソ リユース ン事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	140,409	38,332	26,284	205,027	295	205,323	349	205,672
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,162	3,887	2,381	8,430	579	9,010	△9,010	—
計	142,571	42,220	28,665	213,458	875	214,333	△8,661	205,672
セグメント利益	15,984	957	3,458	20,401	175	20,576	△6,433	14,143

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額349百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△6,433百万円には、のれんの償却額△424百万円、セグメント間取引消去等△359百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△5,649百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバリュ ーソリユ ーション事業	デバイスソ リユース ン事業	システムソ リユース ン事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	156,366	41,980	33,536	231,883	291	232,174	339	232,514
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,291	3,522	1,961	7,776	512	8,288	△8,288	—
計	158,658	45,502	35,497	239,659	803	240,462	△7,948	232,514
セグメント利益	21,545	1,878	3,633	27,057	136	27,193	△6,395	20,798

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額339百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△6,395百万円には、のれんの償却額△424百万円、セグメント間取引消去等198百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△6,168百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

デバイスソリューション事業において、事業用資産の減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は1,448百万円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	9,809百万円	10,538百万円
のれんの償却額	898百万円	1,077百万円